2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上場会社名　　株式会社サンクゼール　　上場取引所　東
コード番号　　2937　　ＵＲＬ　https://www.stcousair.co.jp/company
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）久世　良太
問合せ先責任者　（役職名）執行役員 経営企画室 室長　（氏名）宮本　卓治　（TEL）026-219-3902

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	9,913	2.5	145	△44.8	131	△51.2	62	△61.8
2026年３月期中間期	9,676	5.1	264	12.3	269	28.1	163	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　142百万円（－%）　2026年３月期中間期　3百万円（△98.5%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	6.72	6.67
2026年３月期中間期	17.66	17.45

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	10,112	5,008	49.5
2026年３月期	10,212	5,191	50.8

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　5,005百万円　2026年３月期　5,188百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	35.00	35.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	35.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,082	2.3	812	2.7	758	△12.0	403	△34.8	43.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　ー社　（社名）　　、除外　ー社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
　②　①以外の会計方針の変更　　：無
　③　会計上の見積りの変更　　：無
　④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	9,307,400株	2026年３月期	9,305,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	46株	2026年３月期	46株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	9,305,853株	2026年３月期中間期	9,265,240株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間連結会計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間連結会計期間の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（重要な後発事象） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間連結会計期間の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）における世界経済は、中東情勢の緊迫化や主要国間の通商問題等を背景に、先行き不透明な状況が継続しました。国内経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移したものの、原油価格の上昇や食料品を中心とした値上げが続く中、実質賃金の回復は鈍く、消費者の節約志向は一段と強まっております。

食品製造・食品小売業界におきましては、原材料やエネルギー、物流費、人件費等のコスト上昇が続き、価格転嫁や生産性向上に向けた対応が求められております。また、消費者の価値重視の購買行動が強まる中、商品価値の明確化やブランド力の強化、お客様との関係性構築が持続的な成長に向けた重要な課題となっております。

そのような状況の中、当社グループは「愛と喜びのある食卓をいつまでも」というコーポレート・スローガンのもと、お客様の食卓に寄り添い、価値ある商品及びサービスの提供に注力しております。

当中間連結会計期間において、B to Cの販売チャネルである店舗（直営・ＦＣ）の売上高は、主に前期下半期における新規出店の寄与により、前年同期比で1.2%の増加となりました。ＥＣでは、公式ＥＣサイト及び楽天市場サイトでの各種施策が奏功し、前年同期比で1.9%の増加となりました。B to Bの販売チャネルであるホールセールに関しましては、既存の大手小売チェーンでの既存商品の売上減少が影響し、前年同期比で3.7%の減少となりました。グローバルでは、米国子会社St.Cousair, Inc.（以下、「SCI」という。）において、既存ブランドの販売が堅調に推移したことに加え、2025年４月に事業譲受したKELLY'S JELLY, INC.（以下、「KELLY'S JELLY」という。）の売上計上が寄与いたしました。その他地域では、韓国での取引拡大により売上が大きく伸長し、グローバル全体としては前年同期比で16.5%の増加となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における連結業績は、売上高が9,913,913千円（前年同期比2.5%増）となりました。売上総利益は、原材料や資材価格の上昇等により売上総利益率が前年同期比で1.2ポイント低下したことから3,442,691千円（前年同期比1.0%減）となりました。営業損益は、売上総利益率の低下に加え、人件費や荷造運搬費等の販売費及び一般管理費が増加したこと等により、145,879千円（前年同期比44.8%減）の営業利益となりました。経常損益は、損害補填金4,682千円等の営業外収益17,628千円を計上した一方で、支払利息15,703千円等の営業外費用32,108千円を計上したことにより、131,399千円（前年同期比51.2%減）の経常利益となりました。親会社株主に帰属する中間純損益は、税金費用63,634千円等を計上したことにより、62,527千円（前年同期比61.8%減）の親会社株主に帰属する中間純利益となりました。

当社グループの出店政策に関しましては、商圏人口、賃貸条件、ＲＯＩＣ等の指標を総合的に勘案し、新規出店を行っております。当中間連結会計期間におきましては、「久世福商店」業態で３店舗を退店いたしました。その結果、当中間連結会計期間末における店舗は直営店54店舗、ＦＣ加盟店120店舗、計174店舗となりました。

当中間連結会計期間における業態別の店舗数は以下のとおりです。

業態名	区分	前中間 連結会計期間末	前連結会計 年度末	増加	減少	当中間 連結会計期間末
サンクゼール	直営店	6	3	－	－	3
	ＦＣ加盟店	2	－	－	－	－
	計	8	3	－	－	3
久世福商店	直営店	47	53	－	2	51
	ＦＣ加盟店	122	121	－	1	120
	計	169	174	－	3	171
全業態合計	直営店	53	56	－	2	54
	ＦＣ加盟店	124	121	－	1	120
	計	177	177	－	3	174

当社グループは、食品製造販売事業を単一の事業セグメントとしているため、セグメント情報の開示は省略しております。

当中間連結会計期間におけるサービス別の売上高は以下のとおりです。

区分	売上高（千円）	前年同期比増減率
直営	2,909,677	3.0%
ＦＣ	3,413,723	△0.2%
ＥＣ	569,350	1.9%
ホールセール	1,540,783	△3.7%
グローバル	1,480,378	16.5%
計	9,913,913	2.5%

① 店舗（直営・ＦＣ）

当中間連結会計期間における店舗（直営・ＦＣ）の売上高は6,323,401千円となり、前年同期比で1.2%の増加となりました。これは主に、前期下半期における新規出店による増収効果によるものであります。一方で、重要課題として位置付けている既存店につきましては、売上高及びお客様数ともに前年同期をわずかに下回る結果となりました。

既存店におけるお客様数の回復に向け、当社グループは売り場改革の一環として、引き続き売り場演出や、試飲・試食を含めた店舗販売力の強化に取り組んでおります。また、自社商品に加えて仕入商品の導入を拡大し、品揃えと価格帯の幅を広げております。新たなお客様にはご来店のきっかけとなるお手頃価格の商品を、既にご利用いただいているお客様には日常的にお使いいただける商品を数多くご提案することで、新規のお客様の獲得とリピート利用の促進を図り、お客様数の増加を目指してまいります。

店舗数に関しましては、「久世福商店」で３店舗（直営２店舗、ＦＣ１店舗）を退店し、当中間連結会計期間末における店舗は直営店54店舗、ＦＣ加盟店120店舗、計174店舗となっております。

（注）　当社グループでは、開店後18か月以上経過している店舗を「既存店」として客単価及び客数を集計しております。

② ＥＣ

当中間連結会計期間におけるＥＣ事業の売上高は、前年同期比で1.9%増加の569,350千円となりました。まとめ買いセットやギフト商品を含む新商品の投入を加速したほか、公式ＥＣサイト及びアプリの継続的な改修による利便性の向上や、お客様の興味を喚起するＳＮＳ発信の強化に取り組みました。これらの施策に加え、楽天市場サイトで実施した出荷リードタイムの短縮等の効果も売上に寄与し、前年同期を上回る結果となりました。今後は、ＥＣ専用商品の開発体制の構築や配送スピードの更なる改善、公式アプリのリニューアル等を通じて、更なる成長を目指してまいります。

③ ホールセール

当中間連結会計期間のホールセール事業の売上高は、前年同期比3.7%減の1,540,783千円となりました。これは主に、主要取引先である大手小売チェーンにおいて、既存商品の販売が低迷したことによるものであります。同取引先においては、販売の強化に向けて新商品の投入を進めており、下期以降の売上回復を図ってまいります。また、新規取引先の開拓や新たなカテゴリー商品の提案にも引き続き取り組んでおります。販売チャネルの拡大により特定取引先への依存度を低減し、ホールセール事業の安定成長に向けた体制づくりを推進しております。

④ グローバル

当中間連結会計期間のグローバル事業は、前年同期比16.5%増の1,480,378千円となりました。米国子会社SCIの売上高は、「KUZE FUKU & SONS」や「Portlandia」等の既存ブランドの販売が拡大したことに加え、2025年４月に事業譲受した「KELLY’S JELLY」の売上計上も寄与し、堅調に推移いたしました。台湾につきましては、現地取引先との取引が拡大し、売上高が好調に推移いたしました。韓国子会社St.Cousair Korea Co., Ltd.につきましては、大手小売チェーン向けの商品開発・提案を積極的に進めており、現地法人による営業活動が奏功して、取引拡大につながっております。

国別の内訳は、米国顧客への売上高が前年同期比3.9%増の940,224千円、台湾顧客への売上高は前年同期比で7.0%増の367,712千円、その他の地域での売上高は前年同期比699.6%増の172,440千円となっております。

（２）当中間連結会計期間の財政状態の概況

（資産、負債及び純資産の状況）

当中間連結会計期間末の総資産は10,112,610千円となり、前連結会計年度末に比べ99,637千円減少いたしました。これは、売掛金が432,855千円減少したこと、のれん等の無形固定資産が41,853千円減少したことに加え、商品及び製品が451,397千円増加したこと等によるものであります。

負債は5,103,642千円となり、前連結会計年度末に比べ82,804千円増加いたしました。これは、資金調達により長期借入金が335,434千円増加したことに加え、未払法人税等が120,925千円減少したこと等によるものであります。

純資産に関しましては、親会社株主に帰属する中間純利益62,527千円や剰余金の配当325,673千円の計上により、利益剰余金が前連結会計年度末に比べ263,146千円減少いたしました。その結果、株主資本は前連結会計年度末に比べ262,902千円減少し4,693,262千円となり、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ182,442千円減少し5,008,967千円となりました。

なお、当中間連結会計期間末の自己資本比率は49.5%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、1,604,702千円となり、前連結会計年度に比べ707,002千円減少しました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における営業活動による資金の減少は、136,091千円（前年同期は995,400千円の増加）となりました。この減少は、税金等調整前中間純利益126,477千円、減価償却費236,663千円、仕入債務の減少額15,005千円、売上債権の減少額440,934千円、棚卸資産の増加額514,838千円、法人税等の支払額185,950千円を計上したこと等によるものであります。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、661,555千円（前年同期は499,448千円の減少）となりました。この減少は、有形固定資産の取得による支出644,570千円の資金の減少が生じたこと等によるものであります。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における財務活動による資金の増加は、74,640千円（前年同期は175,030千円の減少）となりました。この増加は、長期借入により600,000千円の資金が増加した一方、配当金の支払325,673千円の資金の減少が生じたこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月12日に発表した通期の業績予想から、現時点で変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,311,704	1,604,702
売掛金	2,037,591	1,604,736
商品及び製品	1,496,061	1,947,458
仕掛品	95,992	74,366
原材料及び貯蔵品	324,968	420,854
その他	109,654	245,626
貸倒引当金	△521	△402
流動資産合計	6,375,451	5,897,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,567,502	2,855,715
減価償却累計額	△1,629,126	△1,705,864
建物及び構築物（純額）	938,376	1,149,850
その他	2,141,038	2,491,169
減価償却累計額	△941,335	△1,051,266
その他（純額）	1,199,702	1,439,903
有形固定資産合計	2,138,078	2,589,753
無形固定資産		
商標権	652,191	636,303
のれん	478,383	452,390
その他	22,929	22,956
無形固定資産合計	1,153,504	1,111,650
投資その他の資産		
その他	545,220	513,871
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	545,214	513,864
固定資産合計	3,836,797	4,215,269
資産合計	10,212,248	10,112,610

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,314,820	1,294,529
短期借入金	400,000	400,000
１年内返済予定の長期借入金	270,961	347,140
未払法人税等	212,504	91,579
賞与引当金	112,483	113,061
役員賞与引当金	11,900	5,946
資産除去債務	2,035	―
その他	826,458	645,764
流動負債合計	3,151,164	2,898,021
固定負債		
長期借入金	1,003,527	1,338,961
退職給付に係る負債	149,866	166,356
資産除去債務	320,445	316,874
その他	395,834	383,429
固定負債合計	1,869,674	2,205,621
負債合計	5,020,838	5,103,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,137,387	1,137,509
資本剰余金	1,302,274	1,302,395
利益剰余金	2,516,606	2,253,460
自己株式	△103	△103
株主資本合計	4,956,165	4,693,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,200	134
為替換算調整勘定	229,691	311,903
その他の包括利益累計額合計	231,892	312,037
非支配株主持分	3,352	3,667
純資産合計	5,191,410	5,008,967
負債純資産合計	10,212,248	10,112,610

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	9,676,077	9,913,913
売上原価	6,200,064	6,471,221
売上総利益	3,476,013	3,442,691
販売費及び一般管理費	3,211,606	3,296,811
営業利益	264,406	145,879
営業外収益		
受取利息	1,964	2,585
受取保険金	16,858	2,264
損害補填金	1,693	4,682
その他	7,193	8,095
営業外収益合計	27,710	17,628
営業外費用		
支払利息	11,185	15,703
為替差損	3,991	8,150
その他	7,488	8,255
営業外費用合計	22,665	32,108
経常利益	269,451	131,399
特別利益		
固定資産売却益	2,665	2,080
特別利益合計	2,665	2,080
特別損失		
固定資産除却損	10,427	－
投資有価証券評価損	14,551	7,002
特別損失合計	24,978	7,002
税金等調整前中間純利益	247,138	126,477
法人税、住民税及び事業税	146,210	70,657
法人税等調整額	△62,220	△7,022
法人税等合計	83,990	63,634
中間純利益	163,147	62,842
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△478	314
親会社株主に帰属する中間純利益	163,625	62,527

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	163,147	62,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,365	△2,066
為替換算調整勘定	△155,674	82,211
その他の包括利益合計	△160,040	80,145
中間包括利益	3,107	142,987
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	3,585	142,672
非支配株主に係る中間包括利益	△478	314

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	247,138	126,477
減価償却費	173,375	236,663
のれん償却額	57,341	40,800
受取利息及び受取配当金	△1,964	△2,585
支払利息	11,185	15,703
賞与引当金の増減額（△は減少）	37,973	578
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	5,948	△5,954
売上債権の増減額（△は増加）	322,240	440,934
棚卸資産の増減額（△は増加）	△35,421	△514,838
仕入債務の増減額（△は減少）	79,009	△15,005
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	35,201	16,489
その他の流動資産の増減額（△は増加）	14,685	△33,287
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△63,991	△148,056
その他	127,461	△97,672
小計	1,010,182	60,247
利息及び配当金の受取額	1,964	2,585
利息の支払額	△8,827	△12,973
法人税等の支払額	△7,920	△185,950
営業活動によるキャッシュ・フロー	995,400	△136,091
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△242,917	△644,570
無形固定資産の取得による支出	△2,251	△5,244
差入保証金の回収による収入	18,073	19,500
事業譲受による支出	△186,984	△18,180
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△27,999	－
その他	△57,369	△13,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	△499,448	△661,555
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△140,587	△188,646
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△11,411	△11,283
株式の発行による収入	1,212	243
配当金の支払額	△324,245	△325,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175,030	74,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,960	16,004
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	298,960	△707,002
現金及び現金同等物の期首残高	1,936,046	2,311,704
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,235,006	1,604,702

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、食品製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

当社連結子会社であるSt.Cousair, Inc.（米国オレゴン州　以下、「SCI」という。）は、Mascoma Bank（米国ニューハンプシャー州）が所有権を有するBlake Hill Preserves（米国バーモント州　以下、「Blake Hill」という。）のブランド事業及び関連生産設備を譲り受けることに関し、2026年８月14日付で同社と事業譲渡契約を締結し、同日付で事業譲渡を完了いたしました。

本取引の為替換算レートは、株式会社三菱UFJ銀行公表の2026年８月14日の最終公表相場であるTTSとTTBの平均値（１米ドル＝159.42円）を用いて換算しております。

(1)　企業結合の概要

①　被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称　　Blake Hill Preserves

事業の内容　　加工食品販売事業

②　企業結合を行った主な理由

SCIは、米国におけるブランドポートフォリオの拡充を経営戦略上の重点施策と位置付け、2023年６月にPortlandia Foods, Inc.（以下、「Portlandia」という。）、2024年10月にBonnie's Enterprises, LLC（以下、「Bonnie's Jams」という。）、2025年４月にKELLY'S JELLY, INC.（以下、「KELLY'S JELLY」という。）の加工食品販売事業を段階的に譲り受けてまいりました。今回のBlake Hillは、米国バーモント州を拠点とする高級プレミアム・グロッサリー・ブランドであり、以下の３つの非財務的効果が期待できると想定しております。

a.SCIが保有しない米国東海岸の卸売・ディストリビューター網及びオンラインD2C販路の獲得

b.「砂糖不使用（No Cane Sugar）」ジャム（果汁による自然な甘みづけ）という健康志向の成長カテゴリーの獲得

c.290種類を超えるレシピ資産及びプレミアム・グロッサリー・ブランドの獲得による、SCI既存ブランド群（Kuze Fuku & Sons、Portlandia、Bonnie's Jams、KELLY'S JELLY）との高い戦略的補完性の実現

また、Blake Hillから譲り受ける高効率の生産設備と生産量を取り込むことにより、当社グループの中期経営計画に掲げる米国工場の２交代制移行の戦略について、計画を前倒しして実現できると判断し、SCIにおいて本譲り受けを決定いたしました。

③　企業結合日

2026年８月14日

④　企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

⑤　取得企業を決定するに至った主な根拠

当社連結子会社であるSCI（中間期末は６月30日）が現金を対価として事業を譲り受けるためであります。

(2)　被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	54,838千円	(343千米ドル)
取得原価		54,838千円	(343千米ドル)

(3)　主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

(4)　発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間
現時点では確定しておりません。

(5)　企業結合日に受け入れた資産の額並びにその主な内訳
現時点では確定しておりません。